

1 SDGs体験型地域プログラムの第十二次認定について

認定に当たっての考え方

- ① プレイヤー自身が発信することも重要視しているため、**意欲があるものを幅広く認定。**
 - 意欲が有る限り、県が伴走型で支援を行うことが基本姿勢。
 - 認定基準に未達の項目は、原則、磨き上げで対応。足りていない基準として、認定通知で明記。
- ② 支援の内容が定まらないもののみ、**認定を見送る。**
- ③ プログラムの継続や県と協力した取組が困難になった場合には、**認定を取消す可能性あり。**

1. 認定プログラムの構成

(1)基準を満たしたものを、**全て認定**する。

- ①ひょうごフィールドパビリオンの展開趣旨にふさわしいか
 - ア) 各地域に根差したストーリーや稀少性、独自性など
 - イ) 地域や社会の諸課題を解決し、未来志向型の成果を探求
 - ウ) 事業の継続性や地域の持続可能性
- ②プログラムのブラッシュアップや周辺他プログラムとの連携
- ③社会通念上、懸念があるか。

(2)基準を満たしたものを、**プレミアとして選定**

『各地域の風土・文化との親和性』や『事業の持続可能性』から地域の核となるもの

(3)未達の項目があるプログラム

『今後、より地域を豊かにする可能性』が高いと期待できるもの

2. 認定外・対話を継続して再チャレンジ可能

第十一次認定のプログラム概要

□ 第十二次認定対象プログラム：

令和8年3月～令和8年6月までに応募のあったプログラムの **9件が対象**

【第十二次認定プログラム】

認定：8件（合計281件）

※既認定プログラムのうち、1プログラムを取りやめ

認定を見送る：1件

地域別件数

地域	件数(合計)
摂津	2(71)
播磨	6(111)
但馬	-(43)
丹波	-(27)
淡路	-(29)

分野別件数

分野	件数(合計)
震災復興	-(7)
自然・環境	1(66)
農林水産	2(42)
食	-(27)
経済・地場産業	3(64)
文化・芸術	2(75)

- 地域に根ざしたストーリー等がない
- 実現可能性が低い

(1)認定プログラム(抜粋)

オールド化するニュータウンの未来を考える～福祉・農・地域がつながるコミュニティづくり～（神戸市）

【発信できるテーマ性】

- 開発から40年以上が経過し、高齢化や地域関係の希薄化など「オールドニュータウン化」の課題に直面する西神ニュータウンは、都市機能と農村環境が近接する立地特性を持つ。
- 社会福祉法人丸は、この地で新たに建設する福祉施設を拠点に、農家や地域活動者など多様な主体と関りながら、地域を知り、人のつながりを育む新たな地域づくりに取り組む。
- 本プログラムは、みちくさハンティングやワークショップ等を通じて、福祉施設と地域がつながる実践の過程に触れることができる。オールドニュータウンで始まる都市と農村の人と世代がつながる新たな可能性に触れてみては。

概要：西神ニュータウンの現状や課題について学び、都市と農村が近接する立地を活かした地域資源や地域活動を体験する。

実施主体：社会福祉法人丸



▲新たに建設する高齢者複合施設（R10年開設予定）



▲みちくさハンティング



▲ワークショップ（まちにわとーく）

経済・地場産業



森と運河のあるまち、尼崎臨海地域で環境の回復・創造を体験する（尼崎市）

【発信できるテーマ性】

- 重厚長大産業が立地し、日本の経済発展を支えてきた**尼崎臨海地域**。自然海岸は埋め立てられ、公害問題を抱えるなど、かつては**瀕死の海**とまで言われたが、産業構造の変化等に伴い、遊休地が発生するなど、地域活力の再生が課題になっていた。
- 「**尼崎21世紀の森構想**」は、多様な主体の参画と協働し、尼崎臨海地域に水と緑と人が共生する環境創造型のまちづくりを目指す取組。かつての工場跡であった**尼崎の森中央緑地**では苗木の植え付けや成長した樹木の間伐などで森を育てる活動が行われているほか、**尼崎運河**では生物の力を使った水質浄化等の取り組みも実施されている。
- 本プログラムは、尼崎の森中央緑地や尼崎運河等で、工場跡地に再生された**森づくり**や**運河の水質改善の取組**を体験するもの。人と自然との良好な共生関係をもって持続的に発展するまちづくりを体感することができる。

概要：尼崎の森中央緑地や尼崎運河等において、再生された森づくりや運河の水質改善に係る活動を体験するプログラム。

実施主体：阪神南県民センター尼崎港管理事務所

尼崎21世紀プロジェクト外室



▲はじまりの森
(尼崎の森中央緑地において最初のもりづくりが始まった場所)



▲里山林再生の取組



▲尼崎運河の水質浄化の取組

金具打ち・金箔押し体験（姫路市）

【発信できるテーマ性】

- 江戸時代から八代、約240年続く原田光明堂は、障子が内外に開く無双金具が特徴の伝統工芸品「姫路仏壇」の老舗だ。初代・惣兵衛が姫路城主お抱えの塗師として創業して以降、職人の手仕事を大切にし、現在でも古来の技法と伝統を守り続けている。その製作にあたっては、木地、屋根（宮殿）、彫刻、鋳金具、下地・漆塗り、金箔押し、蒔絵・採色、組立の八職に分業している。
- 本プログラムは、伝統工芸・姫路仏壇の歴史を学びながら、工房見学のほか、金属に命を吹き込む刻の「鋳金具」や、1万分の1ミリの金箔が放つ光を纏わせる「金箔押し」を体験できる。普段は立ち入ることのできない職人の現場で、華やかで精緻な技を楽しんでみては。

概要：職人の工房見学、金具打ち体験（銅板に対し、専用の鑿と金槌を用いて模様を刻印）、金箔押し体験（自身で打った金具にその場で金箔を押す）

実施主体：株式会社原田光明堂



▲金具打ちの工程



▲金具打ちで模様が刻印された銅板



▲金具打ち専用の鑿（たがね）



心を刃に、想いを形に～プロ仕様の「彫刻刀」で作り出す、オンリーワンの木のスプーン体験～（三木市）

【発信できるテーマ性】

- 日本で最も古い金物のまち・三木では、約400年にわたり鍛冶職人の手づくりの技が受け継がれてきた。
- この地で、稲刈り用の鋸鎌の製造にはじまり、1979年の会社設立から彫刻刀の製造を開始したのが道刃物工業株式会社。三木金物の技術を継承しながら、仏師や能面師などプロだけでなく、学校向けの美術教材用や樹脂用、ゴム用、革用など、多彩な彫刻刀を手掛けている。
- 本プログラムは、彫刻刀の製造現場の見学や、プロ御用達の彫刻刀を手に最高級の切れ味を体感する木彫り体験、一生モノのメンテナンス術として海外のユーザーからも定評のある「彫刻刀の研ぎ」の技を味わうことができる。

概要：彫刻刀の製造現場見学、プロ御用達の彫刻刀で木彫体験、「彫刻刀の研ぎ」の技を学ぶプログラム

実施主体：道刃物工業株式会社



▲様々な種類の彫刻刀



▲彫刻刀による木彫り



▲彫刻刀の製造現場

あなたもアーティスト！世界に一つだけの魂の書作品が書ける（三木市）

【発信できるテーマ性】

- 三木市は、伝統的な古典の書を基盤としながらも、綺麗な字にこだわらず、墨のカスレや空間を上手く使って書く前衛書道の創始者・上田桑鳩氏が生誕した地でもある。この地を拠点に活動する人権書道きらきは、障がいの有無や年齢に関わらず、「誰もが共に」「自由に」という趣旨のもと、書道を通じた自己表現の場を20年以上にわたり展開している。
- 本プログラムは、上田桑鳩氏の作品を所蔵している三木市立堀光美術館において、上田桑鳩氏の前衛書道の歴史や作品、思いを学び、中筆から特大筆までの筆や、筆以外の道具も使用し、字を綺麗に書くことにこだわらず、あなただけのアート作品を制作することができる。

概要：上田桑鳩氏の作品を所蔵している堀光美術館にて、中筆や特大筆、筆以外の道具を使用した書アート作品の制作
実施主体：人権書道きらきら



▲上田桑鳩氏の作品（三木市所蔵、左：「心」、右：「寂照」）



▲中筆や特大筆、筆以外の道具



▲上田桑鳩氏の作品を展示する
三木市立堀光美術館

兵庫県産ヒノキのアップサイクルブラシでつくる、世界に一つだけの絵付け体験（三木市）

【発信できるテーマ性】

- 三木金物のうち、鋸（のこぎり）、鑿（のみ）、鉋（かんな）、鋳（こて）、小刀（こがたな）の5品目が国の伝統的工芸品に指定されるなど、**大工道具のまち**としての顔も併せ持つ。
- この地で大工道具である**左官ブラシ**をはじめとする様々なブラシを制作してきたのが**有限会社イシイ**。左官ブラシ専門研究所を立ち上げるなど、多彩なブラシ技術を有するものづくり企業である。
- 本プログラムは、**家具材や建材として利用されにくい兵庫県産ヒノキ**を活用し、自ら絵付けをした**世界に一つだけのオリジナルブラシ**を制作するもの。アップサイクルな取組を通じて、**ものづくり文化やブラシ産業**について学ぶことができる。

概要：大工道具のまち三木で受け継がれてきたブラシ製造技術や地域産業、さらには木材利用等の重要性について学び、兵庫県産ヒノキを活用して製作したアップサイクルブラシへの絵付けを体験するプログラム。

実施主体：有限会社イシイ



▲兵庫県産ヒノキで製作されたブラシ



▲兵庫県産ヒノキを活用した作品



▲絵付け体験スペース

一穂からグラスへ。山田錦と吟米麦芽を味わうファーム・ツーリズム（三木市）

【発信できるテーマ性】

- 酒米の王者「**山田錦**」は兵庫県が約**90**年前に品種開発し、全国**500**以上の酒蔵に供給するトップブランドの酒造米。三木市にはこの山田錦の生産に最適な土壌や気象条件を備えた**特A地区**とよばれるエリアがある。
- より多くの人に山田錦の魅力を知ってもらうため、**山田錦を原料の一つとして使用したビール「吟米麦酒」**を開発したのが**なごみふいーど**。ビールなのに、日本酒のような味わいや華やかな香りが特徴だ。
- 本プログラムでは、**山田錦の田植えや稲刈り**を通じて、山田錦農家の営みを体験するとともに、体験場所の圃場で収穫された**山田錦を使用した日本酒やビール**を現地の風を感じながら味わうことができる。

概要：山田錦について学び、田植えや稲刈りを体験した後、山田錦の日本酒やビールを試飲できる。

実施主体：なごみふいーど



▲ 田植え後の圃場



▲ 稲刈り前の圃場



▲ 山田錦の日本酒「吟米」とビール「吟米麦酒」

農林水産



飯見棚田から未来へつながるプロジェクト（宍粟市）

【発信できるテーマ性】

- つなぐ棚田遺産にも選定された「飯見の棚田」は、約1,300年前から米作りが行われた記述が播磨風土記にある。粘度質の土壤に雪解け水の湧水を用い、中山間地の昼夜寒暖差や、南東に面した長い日照時間はコシヒカリの栽培に適し、群を抜いて美味とされるお米が育つ。
- 棚田保全と地域活性化を目的として2005年に設立された「飯見夢むら棚田の会」は、地域ぐるみで楽しい農業を目指す。虫おくりや新米まつりなど他団体と連携して各種行事を開催するほか、ライスセンターを設置して棚田米「播州こしひかり 飯見の郷」をブランド化する取組も好評を博している。
- 本プログラムでは、季節に応じて田植え、稲刈り、草刈りなどの農作業体験のほか、棚田が持つ防災機能や生物多様性について学ぶことができる。

概要：田植え、稲刈り、草刈り等の季節に応じた農業体験、棚田の持つ防災機能や生物多様性についての学び

実施主体：飯見夢むら棚田の会



▲播州こしひかり「飯見の郷」の米袋デザイン



▲棚田の景観（「つなぐ棚田遺産」）



▲地域伝統行事「虫送り」

第12次認定プログラム 一覧：8件

	プログラムの名称	実施主体	地域
< 摂津 >			
1	オールド化するニュータウンの未来を考える ～福祉・農・地域がつながるコミュニティづくり～	社会福祉法人 丸	神戸市
2	森と運河のあるまち、尼崎臨海地域で環境の回復・創造を体験する	阪神南県民センター (尼崎21世紀プロジェクト外室)	尼崎市
< 播磨 >			
3	金具打ち・金箔押し体験	株式会社原田光明堂	姫路市
4	心を刃に、想いを形に～プロ仕様の「彫刻刀」で作り出す、オンリーワンの木のスプーン体験～	道刃物工業株式会社	三木市
5	あなたもアーティスト！世界に一つだけの魂の書作品が書ける	人権書道きらきら	三木市
6	兵庫県産ヒノキのアップサイクルブラシでつくる、世界に一つだけの絵付け体験	有限会社イシイ	三木市
7	一穂からグラスへ。 山田錦と吟米麦芽を味わうファーム・ツーリズム	なごみふいーんど	三木市
8	飯見棚田から未来へつながるプロジェクト	飯見夢むら棚田の会	宍粟市